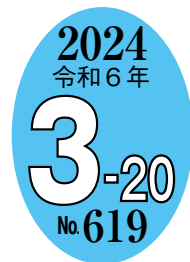




地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 月例調査レポート



長野市城山公園  
(長野県立美術館前)  
空に浮かぶLEDランタン

善光寺周辺で開催された「長野灯明まつり」に合わせて、平和への祈りを込めた約300基のLEDランタンが冬の夜空を彩りました。ランタンの本場である台湾やタイの祭りなどでは本当の火を使用して熱気球のように飛ばしますが、最近のランタンはLEDを使用し、糸を付けて空に浮かべることで安全面や環境面にとっても配慮したものに様変わりしています。このイベントも子どもからお年寄りまで大いに楽しむことができたようです。

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「2024年の経営見通し」③ ..... 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン ..... 8
- 北信濃 明治時代の風景 (24) 善光寺東方 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



これからも、ずっといっしょに、このまちで



# 概況 全産業

## 生産は2カ月連続の上昇 前年同月比は7カ月連続の低下

### ◇2023年12月の長野県鉱工業指数

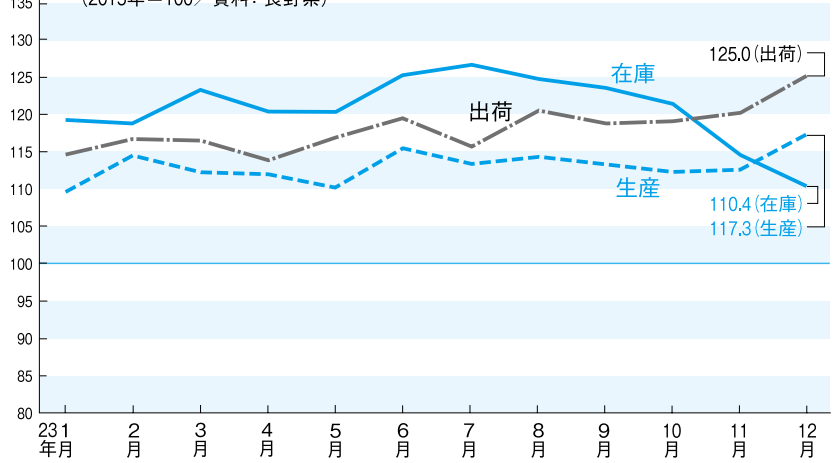
(速報：季節調整済指数)

生産は117.3(前月比+4.3%)で2カ月連続の上昇、出荷は125.0(同+4.1%)で3カ月連続の上昇、在庫は110.4(同▲3.6%)で5カ月連続の低下となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は117.3(前年同月比▲2.2%)で7カ月連続の低下、出荷は126.3(同+1.8%)で12カ月ぶりの上昇、在庫は112.9(同▲2.1%)で10カ月ぶりの低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、食料品など12業種  
低下…化学、電子部品・デバイス、輸送機械など5業種
- [出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、電子部品・デバイスなど12業種  
低下…食料品、輸送機械、窯業・土石製品など5業種
- [在庫] 上昇…食料品、鉱業、紙・紙加工品など5業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械など11業種

## 月例調査

### 全産業の「売上高」は増加

前回調査 2023年12月

### ◇2月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回(12月調査)に比べ「増

加」割合(33%)が3割減少、「減少」割合(25%)が8割減少、「不変」割合(42%)は11割増加、全体としては増加の状況です。

### ●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少  
改善 不変 悪化

業種	前回	今回	改善	悪化	調査対象
全産業	35.9 ↑	32.6 ↓	30.8 ↓	33.3 →	195社(回収率88.6%) 30人未満 72.8% 30人以上 27.2%
製造業	32.4 ↑	41.1 ↑	42.1 ↑	25.3 ↓	191社(回収率86.8%) 30人未満 71.7% 30人以上 28.3%
建設業	33.3 ↓	36.7 ↑	41.1 ↑	30.0 ↓	69社(回収率88.5%) 30人未満 66.7% 30人以上 33.3%
卸小売業	17.1 ↓	65.8 ↑	65.8 ↑	17.1 ↓	60社(回収率87.0%) 30人未満 80.0% 30人以上 20.0%
サービス業	60.0 ↑	20.0 ↓	20.0 ↓	20.0 ↑	41社(回収率87.2%) 30人未満 80.5% 30人以上 19.5%
輸送業	37.5 ↓	12.5 →	12.5 →	50.0 ↑	5社(回収率71.4%) 30人未満 80.0% 30人以上 20.0%
外食業	87.5 ↑	12.5 →	12.5 →	0.0 ↓	8社(回収率88.9%) 30人未満 25.0% 30人以上 75.0%
					8社(回収率80.0%) 30人未満 50.0% 30人以上 50.0%

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高」全業種で増加し、全体も増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(32%)が5ポイント増加、「減少」割合(27%)が15ポイント減少、「不変」割合(41%)が10ポイント増加、全体として増加の状況です。

### ●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	27.7	30.8	41.5
	今回	増加 32.4	不変 41.1	減少 26.5
食料品		46.7	26.6	26.7
金属加工		25.0	50.0	25.0
一般機械		11.1	55.6	33.3
電気機械		33.3	50.0	16.7
自動車部品		25.0	75.0	0.0
精密機械		28.6	14.3	57.1

【業種別】増加…食料品・金属加工・一般機械・電気機械・自動車部品・精密機械

### 【機械稼働】稼働状況(前回比) 下降

上昇割合 (15%) → 10%  
 下降割合 (22%) → 22%  
 稼働率 (74%) → 78%

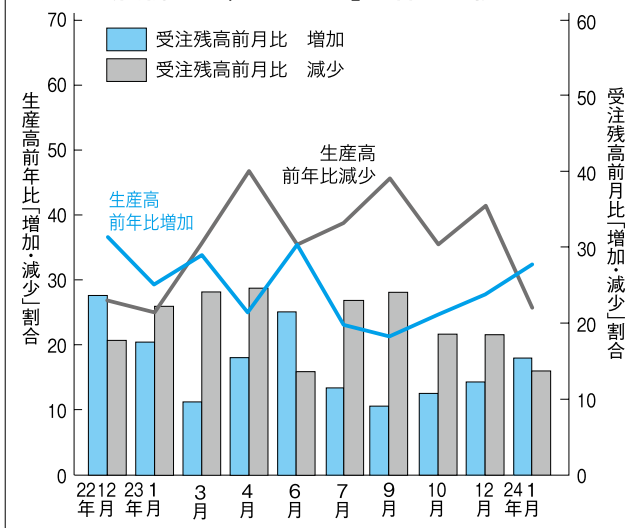
### 【受注状況】受注量(前回比) 上昇

増加割合 (12%) → 15%  
 減少割合 (19%) → 14%  
 受注残高(1.8ヵ月) → 1.9ヵ月

### 【受注基調】(前回比) 下降

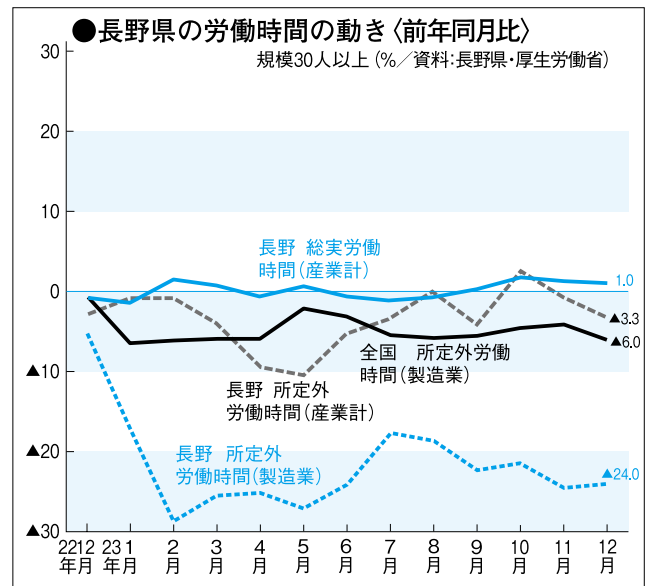
上昇割合 (19%) → 14%  
 下降割合 (23%) → 20%

### ●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%/資料:当金庫)

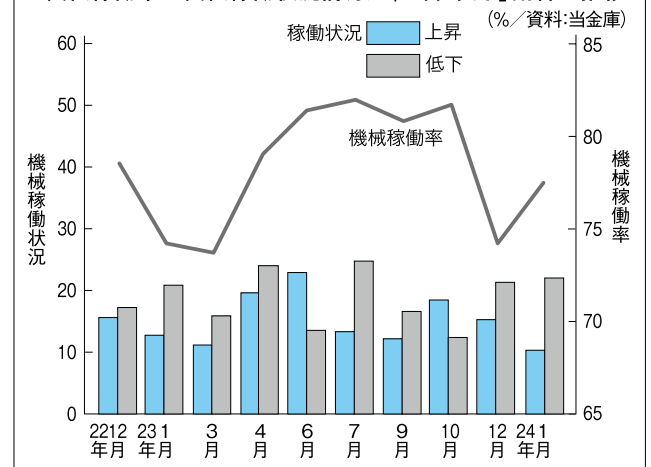


## 企業からのコメント

- ★自動車の生産台数が減少傾向にあり、今期の生産計画の見直しが必要である。(自動車部品)
- ☆テレビCM効果で売上は伸びている。次の手を打って、この流れを止めないようにしたい。(乾麺)
- ☆コロナの収束とともに受注量は改善し、一時は部品の入手に苦戦していたが、このところ部品調達も安定してきて業界全体も堅調である。(医療用機器)
- ☆昨年に比して、今年は全体的に盛況となっている。インバウンド関連で、ホテルや温泉施設等で入替え需要が増加している。(金属製品)
- ★米国・中国など、海外の景気低迷による生産調整のため受注が先送りとなり、不安定な状況である。(輸送用機器部品)
- ☆★小麦粉は値下がり傾向になってきたが、逆に米は値上がり傾向となっている。(食品)



### ●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(%/資料:当金庫)



# 建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高」建築が増加し、全体も増加

### 概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前年に比べ「増加」割合(33%)が3割減少、「減少」割合(30%)が6割減少、「不変」割合(37%)が9割増加し、全体としては増加の状況です。

#### ●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	36.1	27.8	36.1
	今回	増加 33.3	不変 36.7	減少 30.0
総合建設業		44.4	33.4	22.2
土木工事業		7.7	46.1	46.2
建築業		30.0	45.0	25.0
各種設備業		44.4	11.2	44.4

【業種別】 増加…建築

減少…総合建設・土木工事・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 横ばい

「多い・適正」割合 (69%) → 70%

「少ない」割合 (31%) → 30%

### 4～1月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～1月の発注合計は、1,867.2億円(前年同期比+7.2%)となりました。前年比プラスは「市町村」の633.9億円(同+15.2%)、「その他」の397.6億円(同+37.6%)、マイナスは「国」の284.3億円(▲8.5%)、「県」の546.8億円(同▲6.5%)でした。

北信地区市町村の発注合計は235.5億円(同+45.4%)で、うち長野市は94.6億円(同+41.6%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2024年1月/2023年4月～2024年1月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証株)

		2024年1月	前年同月比	2023年4月～2024年1月	前年同期比
長野県	国	414	▲46.6%	28,434	▲8.5%
	県	3,542	▲24.1%	54,678	▲6.5%
	市町村	5,969	+239.5%	63,386	+15.2%
	その他	1,241	+245.5%	39,758	+37.6%
	合計	11,167	+47.7%	186,716	+7.2%
北信地区	市町村	3,009	+517.6%	23,545	+45.4%
	(内長野市)	412	+103.3%	9,455	+41.6%

### 4～1月の新設住宅着工戸数

長野県の4～1月の新設住宅着工戸数は9,341戸(前年同期比▲11.8%)でした。持家が5,136戸(同▲9.0%)、貸家が2,760戸(同▲7.7%)、分譲が1,376戸(同▲28.3%)、給与が69戸(同+76.9%)です。

北信地区の4～1月の新設住宅着工戸数は2,540戸(同▲13.8%)でした。持家が1,346戸(同▲8.3%)、貸家が791戸(同+1.9%)、分譲が397戸(同▲43.2%)、給与が6戸(同+100.0%)です。

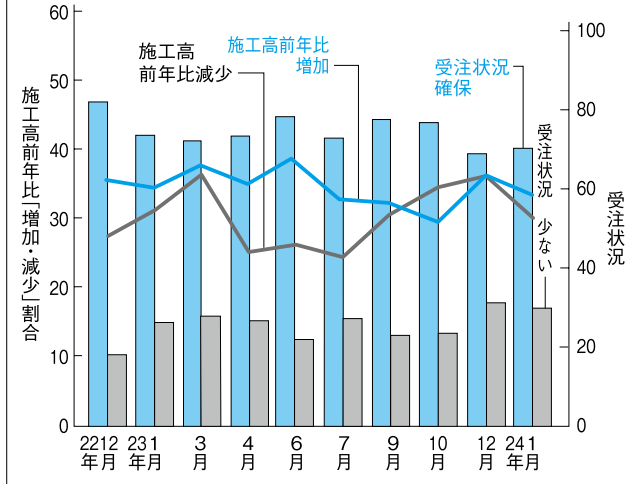
#### ●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数

(2024年1月/2023年4月～2024年1月累計) (資料: 長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	1月	351戸	228戸	72戸	0戸	651戸
	前年同月比	▲23.7%	▲6.2%	▲69.2%	皆減	▲30.9%
	4～1月	5,136戸	2,760戸	1,376戸	69戸	9,341戸
	前年同期比	▲9.0%	▲7.7%	▲28.3%	+76.9%	▲11.8%
北信地区	1月	90戸	73戸	14戸	0戸	177戸
	(内長野市)	37戸	43戸	6戸	0戸	86戸
	前年同月比	▲37.9%	+14.1%	▲91.6%	——	▲52.8%
	(内長野市)	▲59.8%	+95.5%	▲96.1%	——	▲67.7%
	4～1月	1,346戸	791戸	397戸	6戸	2,540戸
前年同期比	▲8.3%	+1.9%	▲43.2%	+100.0%	▲13.8%	

#### ●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移

(%/資料: 当金庫)



### 企業からのコメント

★大手ゼネコンの提示する金額はとて厳しく、その中で粗利を出すのは難しい。(建築板金)

☆★災害復旧の土木工事は減少している。民間の一般住宅は増加しているが、大手ハウスメーカーの進出が多い中、当社は地域密着で営業を行っている。(総合建設業)

☆★石川県の震災復旧に人員を回すべく、県内工事の工期延長対応を行っている。(土木工事業)

## 卸小売業

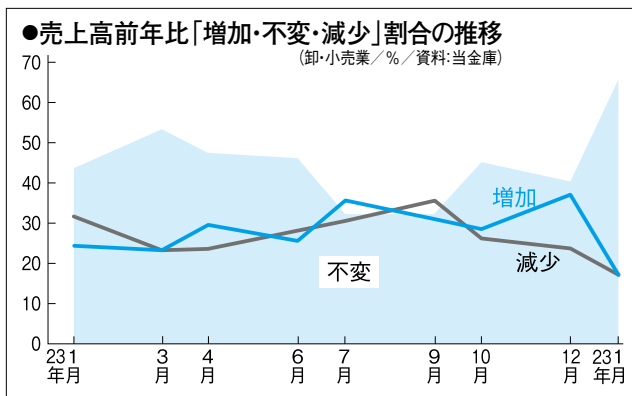
卸売業、小売業

### 「売上高」卸売・小売ともに減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(17%)が20ポイント減少、「減少」割合(17%)が7ポイント減少、「不変」割合(66%)が27ポイント増加で、全体として売上は減少の状況です。

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	37.0	39.1	23.9
	今回	増加 17.1	不変 65.8	減少 17.1
卸売業		15.8	73.7	10.5
小売業		18.2	59.1	22.7



#### 【業種別】減少…卸売業・小売業

1月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……108.6(前月比+0.4%)

(前年同月比+2.3%)(29カ月連続プラス)

上昇…「教養娯楽」「食料」「光熱・水道」「交通・通信」

「家具・家事用品」「被服及び履物」「教育」

下落…「諸雑費」「保健医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…108.1(前月比+0.3)

(前年同月比+2.4%)(30カ月連続プラス)

#### 企業からのコメント

☆★取引先ホテルへの団体客の入込みが好調で注文が増加しているが、2月以降の雪不足が心配である。

(食料品)

★原材料が高騰していて、生産量が少なくなっている。

(花鉢)

☆★子ども用布団の需要期に入るが、少子化の影響もあり楽感はない。

(寝具卸)

☆★どこも値上げをする中、青果は値下げの動き。野菜は天候が良く順調な入荷となっている。

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高」サービスは横ばい、輸送は減少、外食は増加

サービス業 売上高前年比「増加」割合は20ポイント増加の60%、「減少」割合は20ポイント増加の20%、「不変」割合は40ポイント減少の20%と、売上は横ばいの状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は7ポイント減少の38%、「減少」割合は6ポイント増加の50%、「不変」割合は1ポイント増加の13%と、売上は減少の状況。タクシーは横ばい、運輸は減少です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は10ポイント増加の88%、「減少」割合は11ポイント減少の0%、「不変」割合は1ポイント増加の13%と、売上は増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は前月比55%の増加、前年同月比も30%の増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は5ポイント増加の43%、「引合いやや増加」は30ポイント増加の43%でした。

#### 企業からのコメント

☆インバウンドの長期滞在が増加。消費単価も増加している。

(ホテル)

☆賃貸不動産を保有するオーナーの高齢化により、少しずつ不動産売却の依頼も増加傾向にある。(不動産)

☆次第にコロナが落ち着いてきて、人の動きが多くなってきている。当店も週末は県外のお客さまが目立つ。

(和食)

#### ●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	40.0	60.0	0.0
	今回	増加 60.0	不変 20.0	減少 20.0
輸送業	前回	44.4	11.2	44.4
	今回	37.5	12.5	50.0
うちタクシー業			100.0	0.0
うち運輸業		16.7	16.7	66.7
外食業	前回	77.8	11.1	11.1
	今回	87.5		12.5

業界の市場の将来性 「拡大する」6% 「縮小する」31%

アンケート  
2024年の経営見通し ③  
2023年12月調査

重点的な経営課題 「人材の確保・育成」「事業の販路・市場拡大」  
「製品・サービスの高付加価値化」「経費削減による収益力強化」

**業界の市場の将来性** 「拡大する」が6%、「縮小する」が31%、「横ばい」が44%となり、昨年に比べ「拡大する」は+1ポイント、「縮小する」は▲2ポイントとなっています

**重点的な経営課題** 「人材の確保・育成」55%、「事業の販路・市場拡大」41%、「製品・サービスの高付加価値化」と「経費削減による収益力強化」がともに26%、「新たな収益源の確立」21%、「新たな仕入先の開拓」13%、「資金調達・資金繰り改善」11%、「事業継承問題」10%、ここまでの2ケタとなっています。

業界の市場の将来性

「横ばい」30人以上46%

「業界の市場の将来性をどのように認識しているか」を聞きました。

44%の企業は「市場規模は横ばいで進む」と答えています。31%の企業が「縮小する」と答え、「拡大する」は6%に過ぎません。これは昨年に比べると、「拡大する」が+1ポイント、「横ばい」が▲1ポイント、「縮小する」が▲2ポイントとなりました。

従業員規模で見ると、30人未満は30人以上より「拡大する」が2ポイント低く5%、「横ばい」が2ポイント低く44%、「縮小する」が5ポイント高く32%です。30人以上は30人未満より「拡大する」が2ポイント高く7%、「横ばい」が2ポイント高く46%、「縮小する」が5ポイント低く27%となっています。

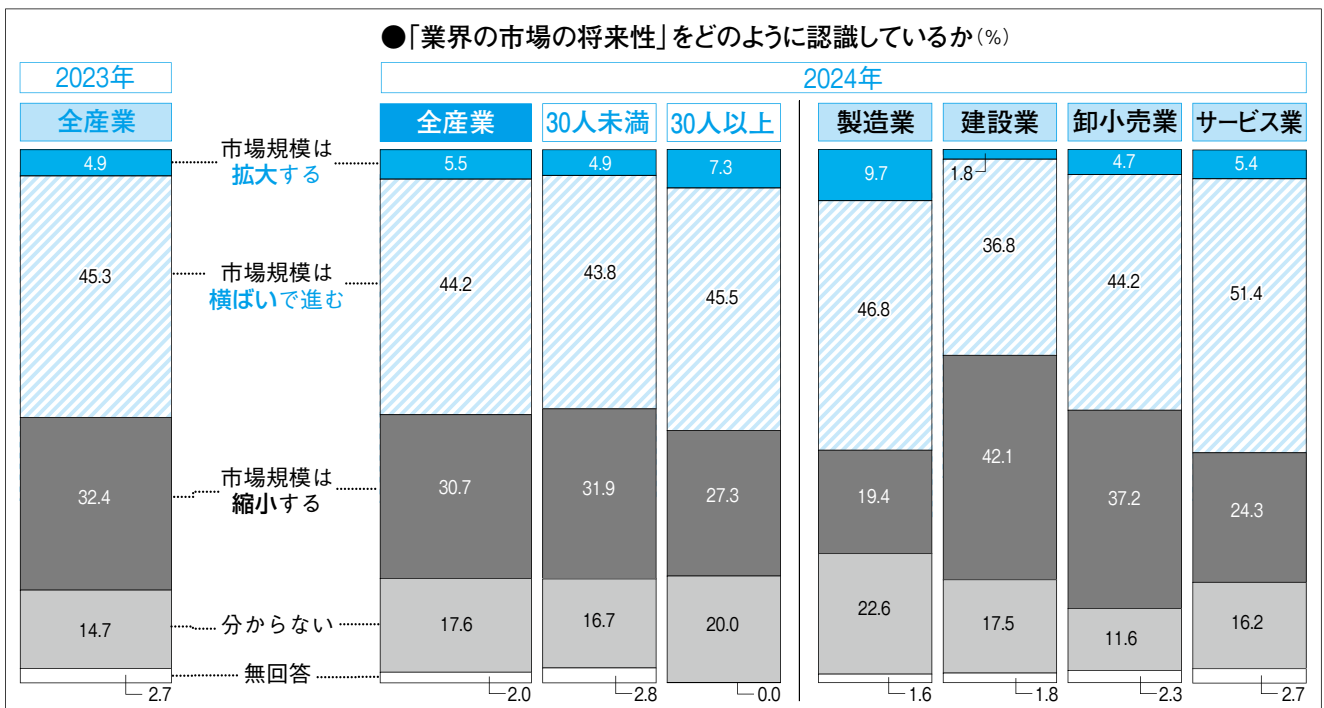
業種別  
製造業が「改善」

◇4業種(前年比・全産業比)

**製造業** 前年比「拡大」は+6ポイントの10%、「横ばい」は+2ポイントの47%、「縮小」は▲12ポイントの19%となり改善しました。「拡大」は他業種に比べ最も高く、「縮小」は他業種に比べ最も低くなっています。

**建設業** 前年比「拡大」は▲3ポイントの2%、「横ばい」は▲5ポイントの37%、「縮小」は+8ポイントの42%となり悪化しました。「縮小」は他業種に比べ最も高く、「拡大」と「横ばい」はともに他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 前年比「拡大」は▲2ポイントの5%、「横ばい」は+5ポイントの44%、「縮小」は+2ポイントの37%と



なり悪化しました。「拡大」と「横ばい」は建設業に次いで低くなっています。

**サービス業** 前年比「拡大」は+1割の5%、「横ばい」は▲4割の51%、「縮小」は▲6割の24%となり悪化しました。「横ばい」は他業種に比べ最も高くなっています。

### 重点的な経営課題

「人材の確保・育成」55%  
 「事業の販路・市場拡大」41%  
 「製品・サービスの高付加価値化」 } 26%  
 「経費削減による収益力強化」

「今後、重点的に取り組みたい経営課題は何か」を聞きました。

上位3項目を見ると「人材の確保・育成」(55%)、「事業の販路・市場拡大」(41%)、「製品・サービスの高付加価値化」と「経費削減による収益力強化」がともに(26%)となっています。

従業員規模で見ると、30人以上では「人材の確保・育成」(71%)が22割、「製品・サービスの高付加価値化」(35%)が12割、「事業の販路・市場拡大」(49%)が12割、「経費削減による収益力強化」(33%)が10割、「設備投資」(15%)が9割、30人未満より上回っています。30人未満では「新たな収益源の確立」(24%)が11割、「資金調達・資金繰り改善」(13%)が7割、「事業継承問題」(12%)が6割、30人以上より上回っています。

### 業種別

「人材の確保・育成」建設72% / 卸小売40%

「事業の販路・市場拡大」製造52% / サービス30%

「製品・サービスの高付加価値化」製造37% / 建設12%

「経費削減による収益力強化」製造34% / 卸小売14%

### ◇4業種(全産業比)

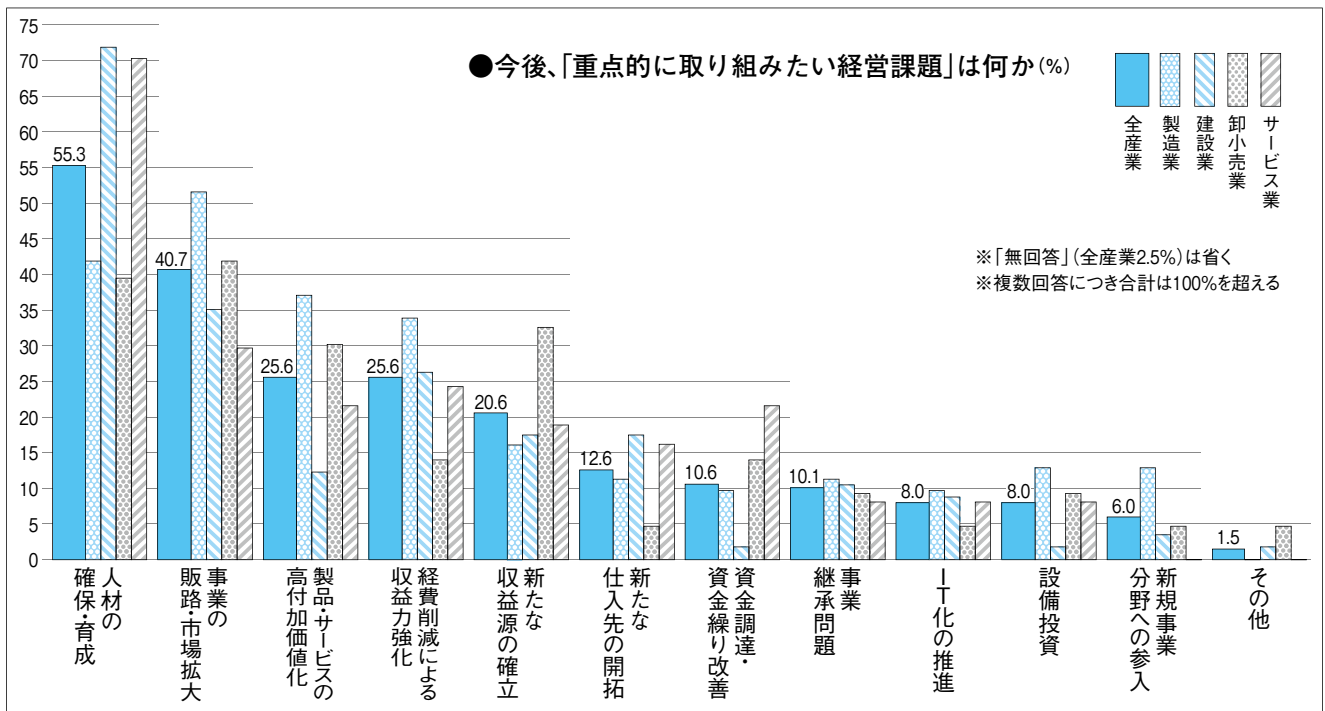
**製造業** 「事業の販路・市場拡大」「製品・サービスの高付加価値化」「経費削減による収益力強化」「新規事業分野への参入」「設備投資」「事業継承問題」「IT化の推進」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「新たな収益源の確立」は他業種に比べ最も低くなっています。

**建設業** 「人材の確保・育成」「新たな仕入先の開拓」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「製品・サービスの高付加価値化」「資金調達・資金繰り改善」「設備投資」は他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 「新たな収益源の確立」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「人材の確保・育成」「経費削減による収益力強化」「新たな仕入先の開拓」「IT化の推進」は他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「資金調達・資金繰り改善」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「事業の販路・市場拡大」「事業継承問題」「新規事業分野への参入」は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「賃上げ」に関するアンケートを予定





いただいた仕事は“絶対に断らない”をモットーに!

有限会社 伊藤伸工  
代表取締役 伊藤 陵輔さま

●創業の経緯をお聞きます…

私の祖父である伊藤正昭が、1965(昭和40)年に個人で伊藤木材店を設立したのが始まりです。当時の電信柱の素材は木材が中心で、木製の電信柱を立てる仕事がメインだったそうです。個人で自家用車を所有することが珍しかった時代にトラックを購入して、東京都内を中心に名古屋方面にも仕事を広げていったようです。

時代とともに電信柱はコンクリート製が多くなり仕事量が減少してきたので、1981(昭和56)年に(有)伊藤伸工を設立して、ビル等の建物のコンクリート工事に使われる型枠の取り外しなどを含めた建設業を行うようになりました。

(有)伊藤伸工を設立して2年後に祖父が他界してしまったため、当時18歳だった私の父・和晴が(有)伊藤伸工に入社して、祖父に代わって代表となった祖母・美喜子の業務を手伝いながら、職人としてのさまざまな技術を学びました。1994(平成6)年に父・和晴が(有)伊藤伸工の代表に就任し、業務を土木業に徐々にシフトして現在の基盤をつくりました。

●社長になられた経緯をお聞きます…

私は父の仕事を継ぐことは特に考えていなかったため大学を卒業後、長野市内の建設会社に入社し住宅の営業を行っていました。1年経ったころ、(有)伊藤伸工で社員が大勢辞めてしまうという事態が発生し、どうしようかと思案しましたが、父の仕事は幼いころから見てきて業務内容を理解していたことや、ときには昼も夜も働きながら会社を守ってきた父の背中を見ていたこともあり、

自分が父の会社を何とかしたいと思い、建設会社を退社して(有)伊藤伸工へ入社することを決断しました。2012(平成24)年のことです。

入社後5年間は現場に従事し、土工事や基礎工事などの土工や型枠工などさまざまなことを学びました。そして昼間は現場に従事するかたわら、夜間に経理なども行うようになりました。さらに、様々な資格も取得し、会社の価値を高めることで今までより規模が大きい現場を多く受注することができるようになってきました。

7年ほど前からは、父がもっぱら現場主義であったこともあり、会社の経営業務も私が行うようになりました。そして2022(令和4)年、私が代表になった方がスムーズに業務ができますし、父に頼ってばかりではダメだと思い、父に「社長を引継がせてください」と申し出て、34歳のときに継承し代表に就任しました。

私が継承してからまだ間もないですが、さまざまなことを変えました。そのひとつが社員の労働管理です。建設業は日曜日のみ休みというのが慣習ですが、土曜日も休日とした会社カレンダーを作成するなどして休みも増やしつつ、しっかりと工程を管理することで、仕事もプライベートも充実したものになりました。そのことで離職率が下がり、従業員数は増加傾向にあります。さらに会社の資産を適切に投資することで、重機や大型トラックを増やし大きな物件への対応力を高めることや、不動産賃貸業も始めることができました。

また就任以来、当社に声がかかった仕事は“絶対に断らない”ことをモットーにしており、徐々に「伊藤伸工にお願いすれば、必ず引き受けてくれる」と思っていただけのように感じています。その結果、売上が伸び収益も安定してきています。いままでやってきた改革などがとても良い方向に向かっています。

●事業の概要をお聞きます…

一言でいうと土建業です。公共工事では、主



に河川工事や砂防工事を請負っていますが、ため池や橋脚、国道の新設工事など、幅広く土木一式工事を行っています。民間工事では、主に大規模な発電所の改造工事や工場、老人ホームの造成工事や基礎工事、外構工事を請負っています。売上の比率をみると公共工事が全体の7割、民間は3割程度です。北信を中心に東信・中信の現場にも出向きます。

●今後の夢や方針をお聞かせください…

当社は社員の努力もあり、仕事量・売上が年々伸びています。昨年8月には地元の建設会社だったビルを取得、リフォームして新社屋をつくりました。上向いている状況だからこそ新しいことに挑むことも大切だと思う反面、もう一度「地に足をつけて会社を安定させる」ことも



本社外景



本社エントランス

重要だと思っています。

現在、社員の平均年齢は40代で、半数は30代です。私と同じ36歳の社員も6名いるので話しやすい部分もある反面、やりにくい部分もあると思いますが、お互い上手に公私を分けることでとてもいい関係を築いています。そんな家族や兄弟みたいな社員のために、資格取得を含めたキャリア形成や仕事を通じて、みんなで成長できるような環境を常に提供しようと真剣に考えています。今後、当社ほどの規模ではあまり採り入れていないと思うのですが、子育て世代が多いので“育休制度”も採り入れて福利厚生面を充実させ、若い従業員をさらに増やしたいです。関わったすべての人が豊かになれるような会社を目指し、日々精進していきたいです。



作業に使用する大型トラック

●事業の概要

創 業 1981(昭和56)年  
資本金 800万円  
代表者 伊藤陵輔  
従業員 20名(男17名・女3名)  
業 務 一般建設業  
事業所 上水内郡小川村大字高府13433-1

●沿革

1981(昭和56)年 (有)伊藤伸工を設立  
1983(昭和58)年 伊藤美喜子が代表に就任  
1994(平成6)年 伊藤和晴が代表取締役に就任  
2022(令和4)年 伊藤陵輔が代表取締役に就任

# 北信濃 明治時代の風景

## (24) 善光寺東方

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



これは明治14年(1881)に出版された「善光寺長野町図」の善光寺東方の部分です。右上が北です。

### 善光寺境内

現在の境内と違うところを見ていきましょう。「経堂」(経蔵)の裏に「弁天」が描かれていますが、現在はありません。本堂北西の「納骨堂」は、現在は忠霊殿となっています。別の場所に雲上殿を建て、そちらを納骨堂としたわけです。

### 年越堂

本堂背後の「年越堂」は年神堂で、明治12年(1879)に善光寺から分離され、城山に「健御名方富命彦神別神社」(水内大社・城山県社)として移されました。しかし建物はまだ残っていて、元々ここで行われてきた善光寺の越年の行事だけは引き続いて行われていたので、「年越堂」と呼ばれたので

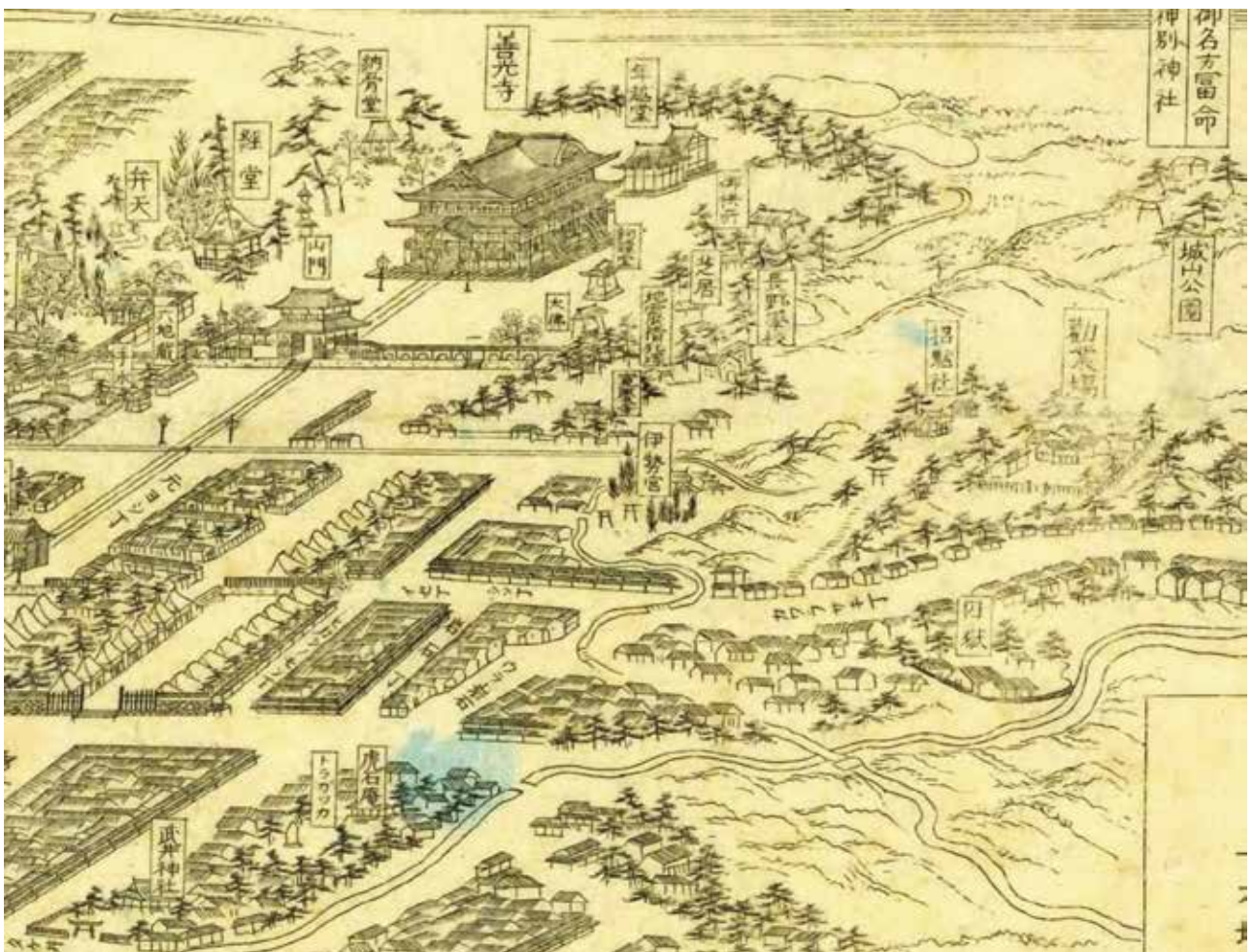
しょう。現在は大本願の墓地となっています。

### 大仏

現在は大勧進の門と向き合っているぬれ仏ですが、この図では「釣鐘堂」(鐘楼)の近くに「大仏」として描かれています。元々は山門の南にありましたが、明治以後は鐘楼の近くに移転し、さらに経蔵の近くに移転して、現在の場所に安置されたのは明治27年(1894)のことです。

### 六地藏と手水

「六地藏」と「手水」は、現在は参道の東側にありますが、ここでは西側に描かれています。手水舎は、江戸時代からこの図のように西側にありましたが、六地藏は元々東側にありました。ただし現在と逆で、六地藏が北側に、ぬれ仏が南側にありました。明治27年の御開帳に合わせて、現在のよ



「善光寺長野町図」の善光寺東方

うな配置に整備されたわけです。

### 芝居小屋

弘化4年(1847)の善光寺地震の犠牲者を弔った「地震横死塚」の近くに「芝居」があります。これは明治6年(1873)にできた常磐井座です。善光寺の境内では御開帳などに合わせて小屋掛けをして、芝居などが上演されていましたが、初めて常設の芝居小屋ができたわけです。この劇場は、やがて現在の長野県立美術館の西方に三幸座となって移転しましたが、明治時代の末には善光寺の北東に移転し、大正4年(1915)には松代出身の松井須磨子の公演がありました。

### 城山公園

明治14年(1881)のこの図にすでに「城山公園」と記されているのは、興味深いことです。善光寺東方の城山は仮寝が岡とも呼ばれ、江戸時代から行楽の場でした。それまでの毘沙門堂に代わって、明治12年(1879)に「健御名方富命彦神別神社」(水内大社・城山県社)がまつられ、明治20(1887)には公会堂として利用された城山館が開館し、明治22年には測候所ができるなど、公共施設も増えていきました。

明治33年(1900)には大正天皇のご結婚を記念して城山館の南側に公園が整備され、36年に完成しました。明治41年(1908)に城山一帯で一府十県連合共進会という産業博覧会が開かれ、終了後は一帯が公園として整備されて、現在に至っています。連合共進会の貴賓接待館として建てられた蔵春館は、昭和24年(1949)に焼失し、昭和42年(1967)に再建されました。

### 招魂社

「長野学校」の東に「招魂社」が描かれています。これは戊辰戦争以来の県内の戦没者をまつった信濃招魂社で、明治13年(1880)に現在の城山公民館の南に創建されました。昭和18年(1943)に城山動物園北の現在地に新築され、移転しました。



昭和42年に再建された蔵春閣

### 勸業場

「招魂社」の東側に「勸業場」が描かれています。勸業場は明治12年(1879)に現在の旭町に設置されましたが、それに先立ち城山に試作所を設け、リンゴの栽培などが行われました。この「勸業場」は、その試作所でしょう。

### 伊勢宮

善光寺本堂の南東に「伊勢宮」が描かれています。これは東之門町の伊勢社です。伊勢の御師宇治家(荒木田家)はここに伊勢社をまつり、御旅屋(出張所)を建てて、ここを拠点に長野周辺を巡っていました。歴代の御師の中には、著名な国学者荒木田久老ひさしおゆもいました。明治以後は東之門町の産土神となりました。

### 湯福川と鐘鑄川

図の左上から川が、善光寺本堂の裏側(北側)方面に流れています。これが湯福川で、善光寺の東側を南下し、「伊勢宮」の西から南に回り込んでいます。また図の左下から右に流れる川があります。これは鐘鑄川で、2本の川は立体交差しています。湯福川が天然の川なのに対して、鐘鑄川は後に造られた用水だからです。

4月号は「中野」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

◆生活の「悩みや不安」

「物価高」51% 「老後の生活費」20% 「自分や家族の健康(新型コロナ含む)」19%

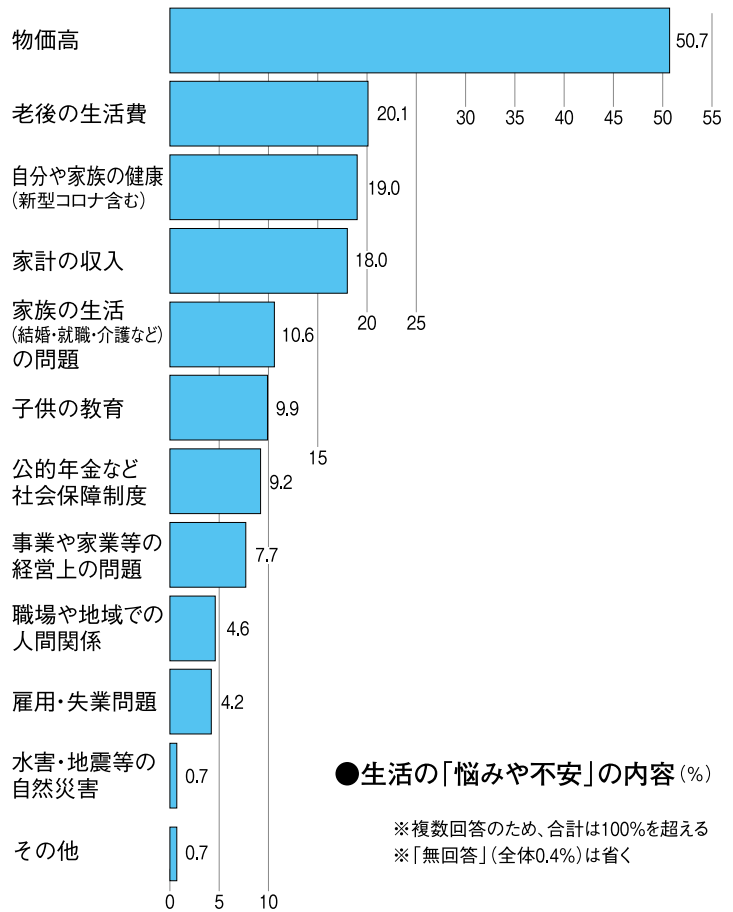
前号で「生活の中で悩みや不安を感じている」と答えた68%の人に、その「悩みや不安の内容」を聞きました。

全体の1～3位を見ると、1位は「物価高」で51%、2位は「老後の生活費」が20%、3位は「自分や家族の健康(新型コロナ含む)」が19%となっています。

男女別で1～3位を見ると、男性、女性ともに1位は「物価高」で、2位は男性が「家計の収入」、女性が「老後の生活費」、3位は男性が「老後の生活費」、女性が「自分や家族の健康」という結果となっています。

世代別で1～3位を見ると、全ての世代で1位は「物価高」となっていますが、2位は10～20代と30～40代が「家計の収入」、50代以上は「老後の生活費」、3位は10～20代が「公的年金など社会保障制度」、30～40代と50代以上は「自分や家族の健康」という結果となっています。

〈当金庫・2023年12月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内 [4月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
4月 2日 火	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	4月 16日 火	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
3日 水	本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	18日 木	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)
4日 木	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	19日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
8日 月	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	23日 火	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
9日 火	長池支店 (大豆島支店)		25日 木	本 部	
11日 木	太子町支店 (須坂支店・墨坂支店)	豊野支店	26日 金	本 部	

